

【資料5】 鳴門市新庁舎建設バランススコアシート（案）

視点	大項目	小項目	内容	指標	基本計画	基本設計	実施設計	施工時	竣工時
財務の視点	イニシャル	用地	自己用地での建設	現庁舎敷地での建設	○				
		建物	事業費	62億円-63億円	○				
			建設規模	10,000㎡-12,000㎡を基本によりコンパクトな庁舎を目指す	○				
	ランニング	省エネ	ライフサイクルコストの減少	省エネ効果の高い設備の導入	○				
		長寿命化	予防保全	高耐久化・修繕が容易	○				
	収入	国費の活用	市町村役場機能緊急保全事業債の活用	工期の遵守	○				
新たな収入		太陽光発電の設置	太陽光発電による電気料金削減	○					
市民の視点	市民満足度の向上	防災	津波対策	津波に対応した工法の実現（嵩上げ・ピロティ等）	○				
			地震対策	免震装置の設置 液状化対策	○				
			フェーズフリー	フェーズフリー機能の実現	○				
		協働・交流	市民の交流の促進	交流スペースの設置	○				
		情報発信	市民への情報発信力の向上	情報発信スペースの設置	○				
	利用しやすさの向上	外から役所へ	バス・駐車場の整備 ユニバーサルデザイン	バス乗り入れ・利用しやすい駐車場 ユニバーサルデザインの実現	○				
		窓口から各課へ	サイン・レイアウト・待合	わかりやすいサインの設置、迷わないレイアウト設計、ゆとりある待合の確保	○				
			ワンフロア・ユニバーサルデザイン	ワンフロアサービス・ユニバーサルデザインの実現	○				
	親しみやすさの向上	鳴門らしさ	鳴門らしさの実現	庁舎への鳴門らしさ	○				
	信用の向上	災害時における業務継続	平常時・災害時を総合したフェーズフリー	フェーズフリー機能の実現	○				
議会	議会機能	効率的な議会運営	効率的な議会運営機能の充実 傍聴席のバリアフリー	○					
業務プロセスの視点	効果の向上	防災	災害対策本部機能	本部会議室の設置・非常用電源等バックアップ機能の導入	○				
			フェーズフリー	フェーズフリー機能の充実・業務継続計画の実現	○				
		セキュリティ	情報管理・防犯	カウンター内は職員専用スペースに	○				
			セキュリティ対策	ICカードによる入退室管理	○				
	執務能率	執務能率の向上	オープンフロアの実現 効率の良い配置の実現	○					
	効率化	働きやすさ	AI機能の導入 業務改革	ict.lotの実現 業務改革の実施	○				
		フレキシビリティ	ユニバーサルレイアウト	ユニバーサルレイアウトでのレイアウト	○				
庁舎の集約		6棟の集約	6棟の機能の集約	○					
成長・学習の視点	働き方改革	最新の技術の導入	業務の効率化 市民サービスの向上	AI・IoTの導入 業務・文書管理等の見直し	○				
	フェーズフリー	防災力の向上	平常時・災害時を総合したフェーズフリー	フェーズフリーの実現	○				
	ユニバーサルデザイン	誰もが使いやすい庁舎	ユニバーサルデザインの導入	ユニバーサルデザインの積極的導入	○				
	ECCO	環境への配慮	グリーン庁舎・ZEBの実現	自然エネルギーの活用・省エネルギー化・環境への負荷低減	○				
	サステナビリティ	持続可能な庁舎	長寿命化	高耐久化・修繕が容易	○				